

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2106

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島大学		科目開講 キャンパス	東千田キャンパス		
2. 科目名	正式科目名	経済事情論 1			クラス名	
	副題				配当年次	
	旧科目名	各国経済論 1			受入学年	
	学問分野	番号	23	名称	経済学	
	サテライトで開講される科目の科目群			A 群	B 群	
3. 担当教員名	富田 秀昭					
4. 単位数	2 単位		5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	29 年 4 月 12 日（水）～29 年 8 月 2 日（水） 水曜日 18：00～19：30					
個別開講日	1 回目 4/12	2 回目 4/19	3 回目 4/26	4 回目 5/10	5 回目 5/17	6 回目 5/24
	7 回目 5/31	8 回目 6/ 7	9 回目 6/14	10 回目 6/21	11 回目 6/28	12 回目 7/ 5
	13 回目 7/12	14 回目 7/19	15 回目 7/26		試験日	8/ 2
7. 基礎知識の有無	「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	5 人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>1) 経済学の分析手法を使って、日本経済の諸側面について学習します。経済理論に関する若干の講義の後、主として高度成長期以降の日本経済の軌跡をたどりつつ、実際の経済問題等を材料にして解説を行います。</p> <p>2) 第 1 回：ガイダンス、日本経済の位置付け・現況 第 2 回：経済学の考え方 第 3 回：経済成長とは？ 第 4 回：戦後日本経済の成長 第 5 回：高度成長期 第 6 回：安定成長期 1（世界経済混乱期：1970 年代） 第 7 回：安定成長期 2（バブル期：1980 年代） 第 8 回：中間試験 第 9 回：低成長期 1（バブル崩壊と 1990 年代の日本経済） 第 10 回：低成長期 2（不良債権問題と 1990 年代末の景気） 第 11 回：日本の金融 1（マクロモデルと金融） 第 12 回：日本の金融 2（貨幣供給のメカニズム） 第 13 回：日本の金融 3（金融政策の変貌） 第 14 回：日本の財政 第 15 回：日本の労働市場（※学期末の試験期間に期末試験を実施）</p> <p>* 状況に応じて、進度、順序、内容等変わることがあります。</p>					
11. 試験・評価方法	中間試験（40%）及び期末試験（60%）により評価（両試験とも受験必須）。					
12. 別途負担費用	なし					
13. その他特記事項	板書量が多いので、帰宅後、講義内容を見直すよう心掛けて下さい。					
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否	